

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)

【公開番号】特開 2002-158088 (P2002-158088A)

【公開日】平成 14 年 5 月 31 日 (2002.5.31)

【出願番号】特願 2001-274334 (P2001-274334)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/04 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/04

G 0 9 F 9/30 3 6 5 Z

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 7 月 11 日 (2008.7.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】発光装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

E L 素子が形成された基板と、  
前記 E L 素子と対向する封止材と、  
前記基板と前記封止材との間に設けられた接着剤 A 及び接着剤 B と、を有し、  
前記 E L 素子は前記接着剤 A に囲まれており、  
前記接着剤 A は前記接着剤 B に囲まれており、  
前記接着剤 A、前記接着剤 B、前記基板、及び前記封止剤とに囲まれた空間に、吸湿性物質が設けられていることを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、  
前記基板には、前記接着剤 A と前記接着剤 B との間の領域と重なる位置に形成された溝部が設けられており、  
前記吸湿性物質が前記溝部に充填されていることを特徴とする発光装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、  
前記封止材には、前記接着剤 A と前記接着剤 B との間の領域と重なる位置に形成された溝部が設けられており、  
前記吸湿性物質が前記溝部に充填されていることを特徴とする発光装置。

【請求項 4】

請求項 1 において、

前記基板及び前記封止材には、前記接着剤 A と前記接着剤 B との間の領域と重なる位置に形成された溝部がそれぞれ設けられており、

前記吸湿性物質が前記溝部に充填されていることを特徴とする発光装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、

前記吸湿性物質は粉状であることを特徴とする発光装置。